

Trigger Select Average Tool

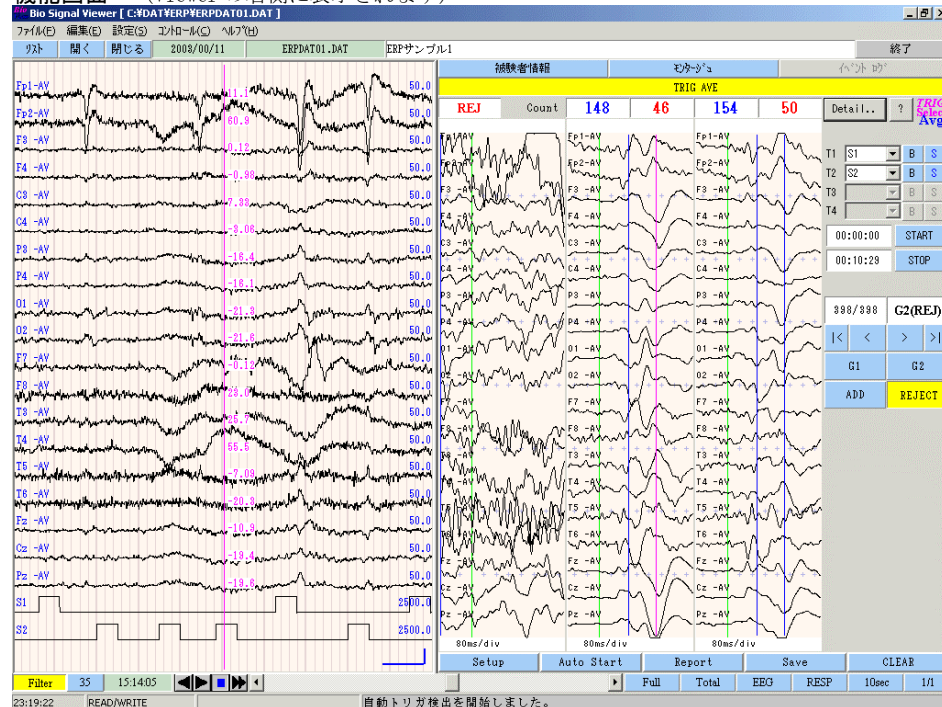


トリガ識別加算ツール機能プログラム (**Trigger Select Average Tool**) は、PSG フォーマットで収録保存されたデータを読み出して、指定したトリガを自動検出しトリガごとに識別した加算平均波形を作成するツールプログラムです。最大4グループまでのトリガ識別加算を自動で行い、加算後は切り出し元波形を確認しながら加算・リジェクト及び識別変更が可能です。テキスト形式でのデータ保存と同時に、加算波形とRAW波形をEPWファイルで保存することで、**EP Multi Viewer** (別売) で利用することが可能になります。また、結果波形はレポート印刷あるいはクリップボードにイメージ・テキストコピーして他のアプリケーションで利用可能です。プログラムは、波形ビューワプログラム (**Bio Signal Viewer, AP-Viewer**) にアドインする形で機能を組み込み、波形ビューワと連動して動作します。

特徴

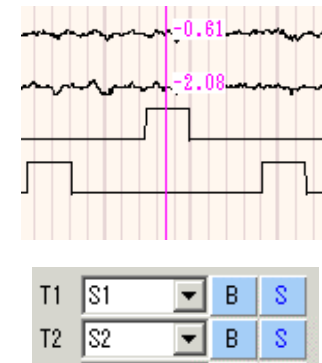
- **Bio Signal Viewer/AP Viewer** のオプションソフトとして機能します。
- 最大4トリガ波形を自動検出して波形を切り出し、トリガごとに加算平均します。
- 加算後、波形を確認しながら加算・リジェクトを指定できます。
- リジェクト条件を設定できます。
- 加算前波形に自動でベースラインを指定できます。
- 加算波形のレポート印刷が可能です。
- 加算波形及び加算前RAWデータをEPW形式で保存し、**EP Multi Viewer** での解析に利用できます。
- 波形データテキスト形式で保存できます。
- 波形イメージをクリップボードにコピーし汎用アプリケーションで利用できます。
- 波形データをテキスト形式でクリップボードにコピーし汎用アプリケーションで利用できます。
- 操作ヘルプが充実しています。

機能画面 (Viewerの右側に表示されます)

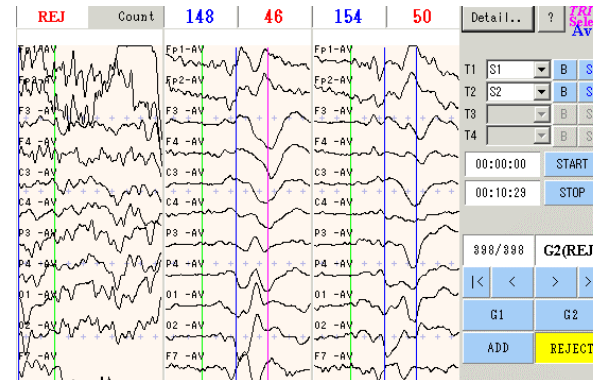


解析条件の設定

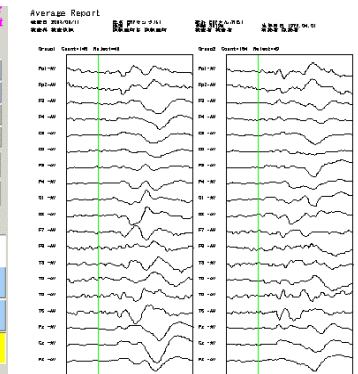
トリガ指定



波形確認・再加算



レポート印刷例



仕様

- 解析チャンネル数 最大64チャンネル
- 解析範囲 解析時間 50msec~10sec、トリガ時間 0~10sec
- トリガチャンネル 最大4チャンネル (独立レベルトリガ)
トリガレベル設定可能、エッジ設定 (レベル設定により可能)
- 加算グループ数 最大4グループ
- 最大切り出し数 トータル5000回 (最大時にはメモリが512MB以上必要)
- アーチファクトリジェクト 自動で可能 (EEG, EOG 独立でレベル設定、区間任意設定)
- オートベース機能 可能 (トリガが区間、任意区間)
- 確認機能 RAW波形確認可能、加算のON/OFF再指定可能、加算グループの変更可能
- レポート印刷 可能 (加算波形印刷)
- イメージ出力 加算波形イメージのメタファイル形式でのクリップボードコピー
- テキスト出力 加算波形データのテキスト形式でのクリップボードコピー
- 保存機能 加算波形のEPWファイル保存 (EPW拡張子)
テキスト形式保存 (CSV拡張子)、切り出し波形RAWファイル保存 (RAW拡張子)

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- ペンティアムIII 800MHz以上のDOS/V機
- メモリ 512MB以上 Windows7, Windows8は2GB以上 空きHDD容量 10GB以上
- XGA(1024×768)以上の解像度
- 動作OS Windows2000, Windows Xp, Windows7, Windows8 (すべて日本語環境)

開発元 (有) のるぶろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。